

沿岸北部グリーンマイスター連絡協議会視察研修について

1 はじめに

沿岸北部グリーンマイスター連絡協議会(事務局:岩泉林務出張所)は、宮古・岩泉・久慈地域の岩手県林業技士(グリーンマイスター)で組織され、地域の林業生産活動を通じて林業の推進と発展に資することを目的に、平成11年に設立されました。

今回、協議会では、令和3年11月4日から5日にかけて、会員の資質の向上に向けた視察研修を開催しました。

2 視察研修の内容

参加者は、宮古・岩泉地区のグリーンマイスター5名及び当所の林業普及指導員2名で、以下の4か所において現地視察を行いました。

(1) 株式会社大森種苗(二戸市)

コンテナ苗(約150万本/年)及び裸苗(約150万本/年)を生産する県内最大の種苗生産状況を視察し、その圃場のスケールに圧倒されていました。

参加者の多くは素材生産のプロですが、改めて苗木生産の現場を通じ再生林の重要性を感じていました。



[幼苗圃場を視察]

(2) 南部町役場(青森県南部町)

令和3年8月に開庁された新庁舎における青森県産アカマツ材の羽目板やスギ材のルーバー、広葉樹材のフローリングなどの内装木質化の取組について視察しました。

地域材利用に当たっては、「地元森林組合等からなる協議会から地域材利用の要望を受け、設計段階から検討できたことで

随所への木材利用と工事発注後の木材調達がスムーズに行われた」との説明を受け、早い段階(設計段階)での地域林業・木材関係者と行政サイドとの連携の重要性を学びました。



[議場の内装木質化を視察]

(3) 株式会社日本の窓(青森県十和田市)

国産材を活用した木製窓(サッシ)生産工場を視察し、木製窓の機能性・防火性の高さや、日本は世界に比べ木製窓の導入率が低い現状について説明を受けました。

また、整理整頓された美しい工場内の生産ラインを視察しました。



[木製サッシの生産工程を視察]

(4) 久慈バイオマスエネルギー株式会社(久慈市)

隣接する大規模園芸団地(菌床しいたけ)への木質バイオマス熱供給の取組を視察し、地域の未利用資源の活用状況、資源量及び熱需要の規模に合わせた事業展開の重要性などについて学びました。

3 おわりに

今回の視察研修は少ない参加者ではあったものの、幅広い分野にわたる有意義な視察研修となりました。

今後も、地域林業をけん引するグリーンマイスターの活躍が期待されます。